

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	道路整備課
	施策	自転車の利用環境の向上		電話番号	087-839-2516
	基本事業	快適な自転車利用のための環境整備		事業実施主体	市
	事務事業	自転車利用環境整備事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	平成 20年 11月に、自転車を利用した香川の新しい都市づくりを進める協議会・高松地区委員会・安全空間確保部会（国・県・市・県警・市で構成、以下「安全空間確保部会」）において策定した、「高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針」に基づき、国・県・市・県警等と連携し、自転車道などを整備することにより、自転車を本市の重要な都市交通手段として有効に活用し、歩行者と自転車の安全で快適な空間の確保や、人と環境にやさしい交通まちづくりを目指す。				
29年度概要	市道五番町西宝線ほか 29路線 自転車走行指導帯等の整備 八幡町西浜新町線 浜ノ町宮脇線 馬場田町線 兵庫町西通町線				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	対象施設：「自転車ネットワーク整備方針」に位置付けられている市道 対象者：自転車利用者
意図（どのような状態にしたいか）	自転車走行指導帯等を整備することにより、歩行者と自転車を分離し、それぞれの安全性・快適性の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
単年度自転車道等整備延長	k m			3.4	0.4	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	自転車道等整備済延長	k m	目標値			9.2	9.6	11.1
			実績値			7.6		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 28年度には、丸亀町栗林線など、3.4 k m区間を供用したが、関係機関等との協議に日時を要したことにより、当初の目標を達成することが出来なかった。 (目標達成度)							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[千円]	15,499	18,063	94,175	54,740
（事業費）	[千円]	6,642	5,012	76,118	36,683
（職員人件費）	[千円]	8,857	13,051	18,057	18,057

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

丸亀町栗林線など5路線で自転車走行指導帯等の整備を行った。
また、「自転車を利用した香川の新しい都市づくりを進める協議会・高松地区委員会」の解散に伴い、同委員会の「安全空間確保部会」を母体とした、「高松市自転車ネットワーク計画推進協議会」を新たに立ち上げた。今後は、自転車ネットワークの構築に向け、同協議会で国・県・市・県警等とのさらなる連携を図る必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

昨年度創設した「高松市自転車ネットワーク計画推進協議会」により、自転車利用環境ガイドラインの改定に伴う「高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針」の見直しなどについて、今度とも国・県と連携をしながら効率的な整備を進める。